

[第32回学術集会 シンポジウム1]

在宅支援でビジネスケアラーを支える

社会医療法人禎心会道央在宅事業部 訪問看護統括副部長

今野 好江

介護保険制度が導入され25年がたち、介護保険の利用が普通の生活の一部となった。訪問看護の仕事始めてちょうど25年がたち、多くの高齢者の生活のご支援をさせていただいている。介護をしながら仕事をしている方にも多く出会った。

介護を受ける方が多くなったことにより多くの家族が介護者にもなっている現状があり、同居をしなくても介護をしている方も増えている。高齢者も携帯電話やSNSの使用が容易になり、遠隔介護も増えてきている。そのため働きながら遠隔介護をされている人が増えその方たちと介護支援者がメールやSNSでやり取りする場面も増えてきた。

また、40～50歳代で働きながら一人で両親二人の介護をしている方も増えてきている。自分の生活も維持しながら、両親や義両親の介護をしている方を支援する場面も増えているが、ケアする人が孤立しないような支援を求められている。

私自身も5年間主介護者の母を支援する副介護者として働きながら介護をしていた。介護が大変というイメージがあるが、私にとっては寝たきりの父と楽しく介護をする母との時間は癒しであり、神様がくれた家族との時間を穏やかに過ごすことが仕事の疲れもとれる時間であった。介護は大変なことばかりではなく介護が日常の生活の一部となること普通

の家族の会話や家族で営まれる生活の時間であることを自分の経験を通して感じる事ができた。

略歴

- 1989年 国家公務員等共済組合連合会 斗南病院
病棟看護師
- 1994年 普照会 井上記念病院 病棟看護師
- 2000年 社会医療法人禎心会 訪問看護ステーション禎心会
- 2003年 訪問看護ステーション禎心会北 開設管理者
- 2008年 訪問看護ステーション禎心会東 管理者
- 2012年 社会医療法人禎心会 道央在宅事業部 訪問看護統括副部長兼務
- 2024年 訪問看護ステーション禎心会東管理者 退任
- 2019年 北海道訪問看護ステーション連絡協議会会長 認定看護管理者取得
- 2020年 北海道医療大学大学院看護福祉学研究科 高度実践看護師コース
- 2022年 北海道医療大学大学院看護福祉学研究科 高度実践看護師コース修了
- 2023年 在宅看護専門看護師取得